

交通事故の撲滅への取組

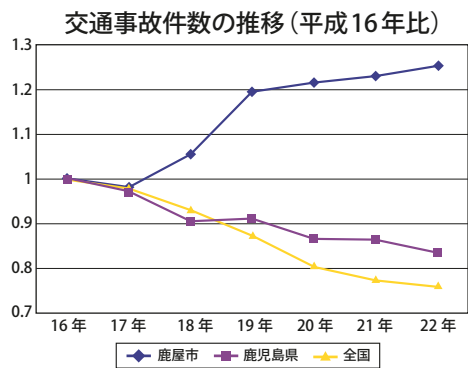
交通事故の撲滅を決意 交通安全鹿屋市民決起大会



▲9月21日、鹿屋運動公園西側駐車場で、交通安全鹿屋市民決起大会が行われ、参加した約500人が、ドライバーに交通安全を呼びかけました。

鹿屋市内の交通事故は、国・県が減少している中で、増加している傾向にあります。特に、平成21年には交通事故死亡者数が14人となり、人口10万人当たりの死亡者数で全国ワースト1位という不名誉な結果でした。

平成22年は、死亡者数こそ減少したものの、事故件数は増加。今年は、8月末現在で3件の死亡事故が発生するなど、厳しい状況が続いています。



また、近年は高齢者が当事者となる事故や駐車場内での事故が多発しています。

このようなことから、鹿屋市交通安全対策会議では、9月21日に鹿屋運動公園で「秋の全国交通安全運動鹿屋市民決起大会」を開催しました。

大会では、鹿屋警察署や交通安全協会、学校関係者など、市の交通安全に関わる関係機関から約500人が参加し、交通事故の撲滅に向けた取組をあらためて決意しました。

秋も深まり、夕暮れも早くなってきました。運転者は早めのライトアップに努めるとともに、歩行者は、夜光反



▲交通安全決起大会では、かのやばら園のマスコット「ばらちゃん」もかけつけました。

射材を身に着けるなど交通安全に気をつけましょう。そして、市民の皆さん一人ひとりがルールとマナーを守り、悲惨な交通事故を未然に防ぎましょう。

【問い合わせ】

市民課
0994-31-1114

交通事故を防止するために

薔薇バラ駐車ストップ

駐車場内の事故は、買い物など用事を済ませて帰る時、バックで出庫する際に多発しています。

駐車時は、バックで駐車して、交通事故を未然に防ぎましょう。

運転免許証自主返納を推進

市では、運転免許証を自主返納された高齢者の皆さんに、運転免許証にかわる身分証明書となる住民基本台帳カードを無償で交付しています。

また、9月からは、かのやばら園の無料入園券やばらの苗の贈呈も行っています。

「危ないかな?」と思ったら、勇気を持って運転免許証を返納しましょう。



長年、交通安全啓発に携わってこられた竹田さんにお話を伺いました。

交通事故撲滅を目指して

鹿屋交通安全協会
西俣支部
支部長 竹田 忠 さん

西俣支部の啓発活動

西俣支部は、協会役員13人と町内会長5人で構成されており、定期的な活動として、毎月1日、20日、30日と、交通安全運動の期間中に、小学生の登校時に交通安全声かけ立哨を行っています。

また、8月には高齢者法令講習会を開催したり、12月に行われる萩塚長寿会の忘年会や3月に行われる総会では交通安全啓発ビデオを使用した交通安全指導、西俣小学校の入学式での交通安全の啓発活動などを行っています。

交通事故の原因は運転中の携帯電話使用

交通事故増加の原因は、運転中に携帯電話を持っている人が増えたことが原因の一つだろうと考えています。事故が増加に転じた頃から、運転

交通安全協会西俣支部長である竹田忠さんは、萩塚町在住の80歳。20年以上交通安全協会の役員として交通安全の啓発に尽力されています。現在は、健康づくりの一環として始めたグラウンドゴルフが趣味という。そんな、竹田さんに交通事故撲滅に向けたお話を伺いました。

中に携帯電話を利用している人を多く見かけるようになりましたが、これは、必ずしも若い人だけとは限りません。また、運転中に食事をして

ど、当然、反応や動作は遅くなります。私も70歳と80歳では全然違うと痛感しています。高齢者で運転をされる人は、自分にも相手にもいたわりのある運転を心がけてほしいものです。

朝ごはんを食べる運転に集中できる環境づくり

運転をする人は、運転者の自覚を持って運転してほしい。西俣小学校では、朝ごはんを食べようという運動をしています。朝早く起きて、朝ごはんをしっかりと食べ、運転に集中できる環境を作るのが交通事故の撲滅にもつながるのではないのでしょうか。

いたわりのある運転を

年齢を重ねれば重ねるほ

